

ハロン1301消火設備

1. ハロン1301の消火原理

液体で貯蔵されている消火剤は、噴射ヘッドから放出された瞬間に気化し、効率よく拡散します。
消火剤を放出した際の「冷却効果」と、消火剤が火災の熱により分解し「燃焼の連鎖反応を抑制」することで消火します。

2. 用途

通信機械室・防災センター・フィルム保管庫・書庫・美術品展示室・研究試験室・機械式駐車場・自走式駐車場・発電機室・ボイラー室・塗装室など、水による消火では2次的被害を及ぼす可能性がある場所。

3. 特長

- ① 消火能力が非常に優れていて、少ない消火剤で消火します(酸素濃度をほとんど低下させません)。
- ② 金属・電気機器類・油類・その他の物質に化学変化を及ぼしません。
- ③ 通常の保管であれば半永久的に変質しません。
- ④ 避圧口を必要としません。
- ⑤ 防護する部屋を密閉して消火剤を放出する「全域放出方式」と、防護する対象物に消火剤を直接放出する「局所放出方式」と選択できます。

4. ガス消火剤の選定ポイント

	HFC-227ea 消火剤	CO2 消火剤	ハロン消火剤
人の出入りがある場所	△	×	○
人が常時いない場所	○	○	○
危険物を取扱う場所	△	○	○
自動的に消火剤を放出	○	△	○
手動でのみ消火剤を放出	×	○	○
消火剤を安定して供給できる	○	○	×

5. ハロン1301消火剤の使用について

消火剤の新たな生産は中止されていますが、使用が禁止されたわけではありません。
現在も日本では特定非営利活動法人消防環境ネットワーク(旧ハロンバンク推進協議会)の管理の下、クリティカルユース(必要不可欠用途)として新たに設置することも、既に設置している消火設備に対して放出後の再充填することも認められています。

6. ハロン1301消火剤の回収について

日本フェンオールでは、現場で不要となったハロン消火剤を消防環境ネットワークに申請した上で、回収と備蓄をしております。

お手元に不要となったハロン消火剤がございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。